



1型のつどい ご報告



2015年9月26日(土) 18:30より、当院2階スペースフィオーレで『1型のつどい in 国立特別講座 宮川高一院長による1型糖尿病のきほん』を開催しました。今回のつどいは、34名の患者さんやそのご家族・ご友人の方にご参加いただきました。参加者数は過去最大で、会場が狭くなってしまいましたが、参加していただいた方のおかげで熱気のある会となりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

今回は特別講座ということで、当法人理事長・当クリニック院長の宮川高一先生より、1型糖尿病はどんなものか、インスリンの歴史最新インスリン療法、ips細胞など再生医学、フィンランドの1型糖尿病治療事情まで幅広く講演をしました。質疑の時間にも、皆さまより「低糖質の良し悪し」「認知症になったら?」「低血糖時の対応」などなどたくさんの質問が出ました。



当院2階の待合室には、『1型グッズ展示コーナー』を特別に準備させていただき、1型糖尿病の書籍やパンフレット、各社のインスリンなどいろいろ展示・紹介させていただきました。また、通常当院1階奥に設置している『1型糖尿病伝言板』も臨時出張しました。



今回は終了時、アンケートをさせていただきました。とても参考になったと8割の方が回答しており、7割の方がこのような会にまた参加したいというご意見でした。開催希望のテーマとしては68%の方が「低血糖」、47%の方が「災害対策」、44%の方が「食事」と回答していました。皆様のご希望に沿った会をまた企画させていただきたいと思っています。

今回は本当にたくさんの患者さん・ご家族・ご友人に参加いただき、同じ1型糖尿病でも様々な世代・病態の方がいらっしゃいました。世代間で、治療の経過で、悩みも課題もさまざまだと感じました。それぞれに合った治療方法が見つけられるよう、この会もお役立ていただければと考えています。

